

今年のJAIGミーティングに参加して

宮本誠一 (JE3BEQ)

28回目になる今年のJAIGミーティングは、5月10日から12日の3日間ドイツのケムニッツで開催された。ホストをされたのはペーター (DG0JT)さん、ハイケ (DE1JTH)さん夫妻で、参加者はドイツから45人、オーストラリアから2人そして日本からは4人の合計51人であった。

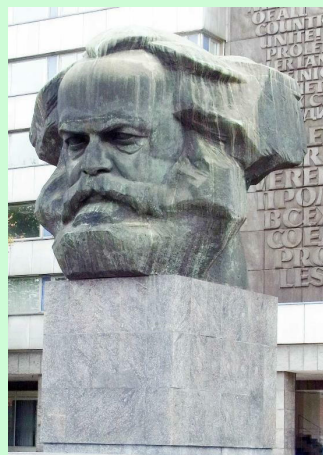
ケムニッツは旧東ドイツ時代カール・マルクス・シュタットと呼ばれたが、ベルリンの壁崩壊後は旧称のケムニッツに戻り、ドイツ連邦共和国・ザクセン州の独立行政区(市)の一つで、人口は約25万人。12世紀神聖ローマ帝国の時代に起源し、17世紀の30年戦争で壊滅的な打撃を受けるがその後復興し、19世紀以降のドイツ産業革命で工業都市として発展した。

私はJAIGミーティングで訪独する際も1カ国未訪の国を訪ねることにしているが、今年はスペインのバルセロナで遊んでドレスデン空港に到着した。空港には初対面のユルゲン (DL1JAC)さんがJAIGのマークを掲げて待っていてくれた。私も手製のJAIG旗をスーツケースに取り付けていたのでお互いに遠目で確認できた。アウトバーンを160 km/hの猛スピードで小一時間飛ばしケムニッツのペーターさんの別荘まで運んでくれた。自分で切符を買って快速電車で行く予定(異国では結構面倒なのは容易に想像されると思う)であったので、ストレスもなく快適なドライブを楽しませて頂いた。

ペーターさんの別荘に近づくとバーベキューの煙が上がっており匂いもしてきて既に早出組の常連メンバーが再開を楽しんでいた。建物にはHFパーティカルが固定されており庭の中心には多段伸縮式大型パーティカルが何時でも組み立てられるようになっていた。芝生の下にラジアルを這わせ、アンテナを外すとハイケさんがあしらった美しい花と

芝生の絨毯だけになり、庭のために鉄塔を建て(られ)ないハム同志として共感を覚えた。バーベキューの後、ペーターとハイケさんの心遣いに感謝しながら暗闇にライトを照らし、夜の街をJAIGミーティングの会場兼宿泊先となるレジデントホテルに戻り、公式プログラムの前夜祭は終了した。

初日のプログラムは夕方から始まるので朝食はゆっくりかと思ったら、短い時間を惜むよう7時半には到着組は勢ぞろいして朝食中であった。私はクラウド・ペーター(DO3LKP)さんと相席したが、今回はXYLの佳英子(DK9QZ)さんが日本からの帰国直後と匹の猫の世話のために来られないことを聞き、話は二人共



カール・マルクス



出迎えてくれたユルゲンさん



産業博物館



デパートとマーケット広場



ケムニッツの新旧市庁舎

通のライカ(カメラ)の話題になった。彼はライカ(リグのコーンズのようなもの)を買き、私はライカを卒業(から脱落)したと言って笑いあった。昼は大西さんに誘われて路面電車に乗リケムニッツの

駅まで出掛け、寿司屋で昼食をとった。握りのご飯が冷たくべちゃ付いて美味しいとはお世辞にも言えないが、二人とも昼から味わうドイツビールのツマミとして受け入れた。一度ホテルに戻ったら、数人の人が到着していた。矢花 (JA0BZC) さん夫妻は今回誘われて初参加とのことであったが、翌日のJAIGミーティングで会員になることをプロポーズされ大歓迎された。夕方から近くのビール醸造所に出かけ、正式プログラムが始まった。プラントの見学は説明がドイツ語のため皆目分からなかったが、ビール好きのドイツ人だけあって関心が高く質問が延々と続き、御蔭で喉の渇きは最高潮に達した。大型ジョッキーでそれぞれが好きなビールをオーダーし、ドイツ料理を袖すり合わせて楽しんだことは言うまでもない。



大型バーチカル伸長中のペーターさん (デジタルは芝生の下) 新しくメンバーになられた矢花夫妻



ペーター & ハイケ夫妻の別荘

二日目はバスでガーデンツにあるオモチャ工房を見学した。単なる木工場ではなく素材の加工から製品までの一環作業で、子供の夢をくすぐり大人も童心に返るあらゆる木工オモチャを作っていた。大阪の北のビルの吹き抜けで見た20m近いピノキオもここ



ハイケさんと来訪者



オモチャ工房で (JAIGのWEBより)

で作ったのかなと思ったが、質問のチャンスを逃した。午後はアウグスタブルグ城に走り、それはそれは偉い選帝侯 (神聖ローマ帝国において、ドイツ王ないしローマ王 (すなわち神聖ローマ皇帝) に対する選挙権 (選定権) を有した諸侯のこと) から直々に説明を受けた。厳かな話しぶりの選帝侯から日本語の通訳を命じられた壱岐さんはかなり緊張していたが、いかにこのお城と

選帝侯が由緒あるかを私たちに説明してくれた。そのあと猛禽類の狩のショーがあり、当時の城主の楽しみを共有した。夕食は城内にあるレストランで選帝侯が歓迎してくれたが、最初に毒見を厳かにポド (DB7HB) さんに命じた。その時の彼の調子の良い表情と後悔の表情を写真でご覧頂きたい。とにかく毒見が無事済んだので、皆さんはポドさんに感謝することなどは眼中



突然登場し威厳を振り撒く選定候



調子に乗って毒見酒を飲み干すポトさん



毒見を後悔するポトさん



吟遊詩人

になく食事を満喫した。選帝侯が退席のあと吟遊詩人がギターを抱いて現れ雰囲気さをさらに盛り上げてくれたが、なんと衣装の中身は先ほどの選帝侯その「皆」であった。本職は選定候かあるいは単なるエンターテナーか皆疑問に思った筈だが、吉岐さんに聞いてもはっきりしないし、余りにも威厳があるので本人に直接聞くことも恐れ多くてできなかった。とにかく楽しかった。

三日目は本番のミーティングが行われる日である。昨夜の内にまた新しい人たちがホテルに到着して、朝食で再開を喜び合った。午前中はケムニッツの市庁舎を見学した。古い庁舎の横に新しい庁舎が歴史的に融合して並んでいた。古い方での会議や傍聴も何時でもできるように整備されていた。市庁舎の地下レストランの雰囲気・味そしてドイツビールも美味しく申し分なかったが、後で写真を見ると食事前は少々皆さんお疲れのご様子であった。再び元気になったところで、路面電車に乗って工業博物館の見学に向かった。産業革命以降から現代直前迄の近代産業の博物展示で、自分の世代で懐かしむことができるものも多数あり時間を忘れてしまった。

ホテルに戻り一時間程度の小休止と身支度のあと JAIGミーティングがホテルのレストランで始まった。最初にサイレントキーになられた方々、イレーネ (DF6SW 私はコブレンツの叔母さんと呼ばせて頂いている)さん、ウルスラ (DF2VM)さん、松村秀郎 (JF1GJU)さん、加藤得三 (JA1QGT)さん、荒川一郎 (JS1DLC)さんに黙祷を捧げる段になり 司会の吉岐さんが感極まるシーンがあり寂しさ一際皆さん其々に故人を偲んだ。引き続き昨年の津波災害に関してJAIGが行なった石巻へのお見舞の説明と協力に対する感謝の報告がなされ、吉岐さんエリカさんをはじめ関係者の方々の尽力に思いを新たに。また今回都合で来られないと連絡のあった方の紹介と、入院中の方に絵葉書を贈ることも伝えられた。遠来の来訪者では、オーストラリアからレン (VK8DK S EANET2006Osaka)に参加)さんとXYLのシルビアさん、日本から大西 (JA3PE)さん、矢花 (JA0BZC)さんとXYLの「なおこ」さん、宮本 (JE3BEQ)が紹介された。毎年この様に紹介されると 後何回来れるかと考えてしまう。そしてJAIG賞の発表へと進み、今回は西間 (JA3QUU)さんが目出度く受賞され、都合のため出席が叶わなかった彼に代わって、万来の拍手の中で私が楯を拝受した。最後に来年のJAIGミーティングは、ウーベ (DH2PC)さんによって5月9～12日の間ニールス Stein で計画されていることと JAIGニュースの寄稿に積極的な二人の方々がいなくなったので新たな協力を要請され、公式プログラムはパーティー懇談に移っていった。



市庁舎レストランでの昼食 (大西さんと)



司会をされる吉岐さんとエリカさん



サイレントキーの方々

4日目はお別れの日であるが、参加者には重要な意義がある。すなわち観光、食事、ミーティングと精一杯楽しんだのであるが、どうしても積もる話が尽きない。話足りない部分を補足するのがこの日の重要な意義である。一人一人を回って再開を約束し合う時の気持ちの高揚は止められない。私は丁度この時、大西さんが一足先に出発されるのに気付く、旅なれた先輩にくっついて行った方が楽にドレスデンに行けると、追いかけてホテルを後にした。十分話ができなかった方々に思いを馳せながら、ふと見ると我々を見つけたペーターさんが駅まで駆けつけてくれ、それに感づいたヘイケさんはホテルの入口で長い間手を振って見送ってくれていた。有難う皆さん。

JAIG賞



JAIGミーティング

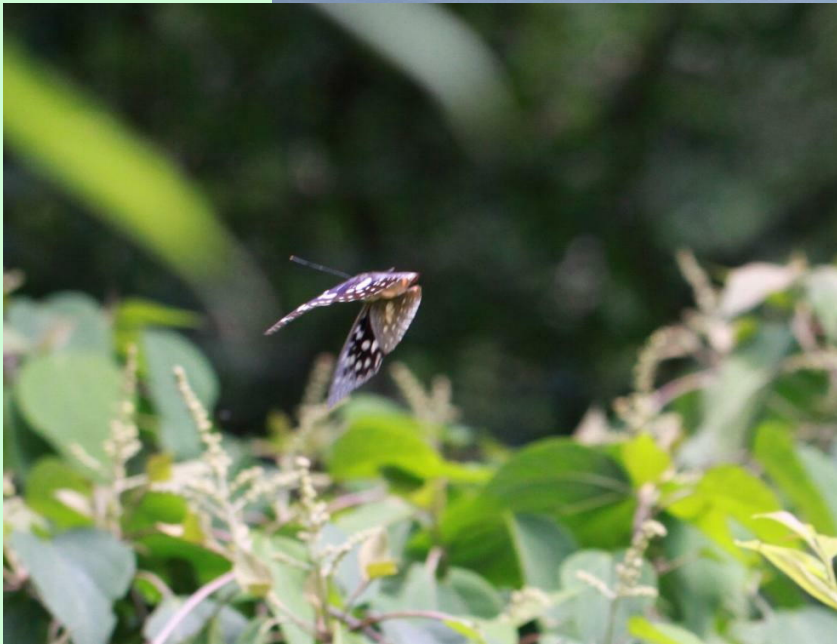
シャッター
チャンス

久しぶりのシャッター
チャンス・コーナーです。
皆さんの写真をお寄せ
ください。



この二葉はJH3AEFによる日本の国蝶、
オオムラサキの飛翔写真です。

オオムラサキの雄の翅表は言葉には尽くせないほど
に美しい光沢のある群青色をしており、それ故に蝶
仲間では流涎の的でもあります。
大型の蝶の代表格で、特にメスは大きく、飛翔する姿
は小鳥をも思わせ、近からずとも羽音を聞くことも珍し
くありません。
大阪近郷では6月中旬から飛び始めますが、飛翔は
きわめて高速俊敏、その上クヌギやエノキの高木の
樹頂付近を回遊し、なかなかその姿を眼底に焼き付
けることが出来ません。
その気になって探さなければ、その存在すら気付か
づまいに終わってしまうかも、、、



写真は梅雨の合間の一瞬の晴れ間、6月26日午後、枚岡公園
で撮影したものです。レンズからはるか遠方を高速で飛ぶ姿を
一瞬止めてやろうと果敢に挑戦した苦心の二葉です。
CANON EOS 50D 100mm望遠MACRO
F20 1/1000, F3.5 1/1000

AOPさんのモンキアゲハの写真良く撮れてますね。カメラ付き携
帯電話での撮影とのこと。大きな写真機やレンズ無用の時
代に突入といった感じをうけました。
JH3AEF/ 東條 純一

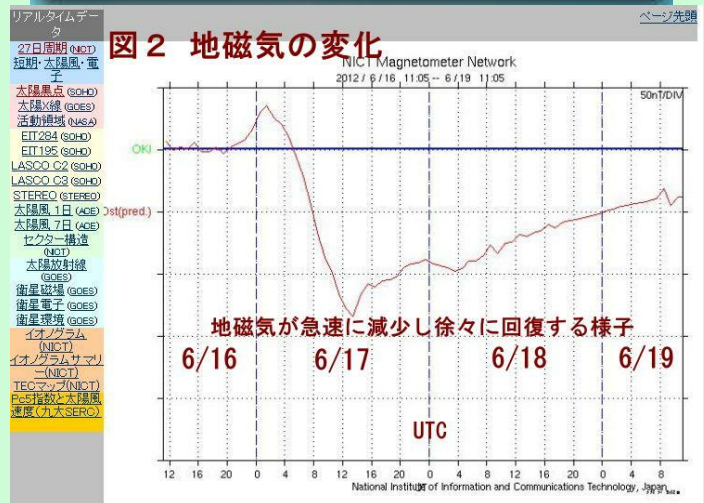


6月の初旬、淡路シャックの庭の手入れをしていると、ひらひらと
蝶が・・・一瞬、JH3AEFさんの蝶の写真が頭にひらめき、手元
の携帯電話で撮影しました。
羽を広げたもっと思いチャンスもありましたが、携帯電話カメラで
は操作性が悪く、シャッターが落ちるまでのタイムラグがあり、
やっとの思いで一枚シャッターが切れました。
JH3AEF東條さんからご寄稿くださった機会に、お相伴させてい
ただきました。 JA3AOP/ 杉山 暁

2012 ALL ASIA CW コンテストで地磁気嵐に遭遇

JA3AOP / 杉山 暁

6月16日0000Z - 6月17日2400Zに行われた2012 All Asia CW コンテストにJA3YAAのコールサインでマルチオペ部門に参加しました。私はもっぱら支援部隊ですが、このチームは2008, 2010年には Asia1位のメダルを獲得しています。昨年は僅少差で2位でした。2012 All Asia CWは太陽黒点数も高いレベルに在り期待を持って臨みました。(図1)
朝9時(JST)のスタートから好調なペースが20時間続き3,000QSOの期待も出てきました。しかし、17日(日)の朝にはコンディションは極端に低下し、時間が経過しても回復の兆しがありません。
インターネットで宇宙天気情報を調べてみると、6月13,14日に起こったフレア(太陽表面の爆発)で生じたプロトンが17日の早朝(JST)に地球に到達していました。
プロトン(陽子)は正電荷を持っていますので、その流れは地球の磁場に沿って南北の磁極へ導かれてゆきます。正電荷の流れは電流ですから地球の磁場に影響します。NICT(情報通信研究機構)の観測した地球磁場の変化の様子を図2に示します。
この現象は昼夜の区別なく起こっていますので地球上の全エリアで障害が生じます。障害の発生は急ですが、その回復は徐々に、数日~1週間に及びます。
今回はコンテストでの長時間連続運用のおかげで日常生活では気がつくことのない自然のドラマを電波を通じて貴重な体験をすることが出来ました。



2011 ALL ASIA CW

[NOAA Sunspot Number]

図1. 太陽黒点数

White: 0, Skyblue: less than 40, Green: 40-80, Yellow: 80-120, Red: greater than 120

2011/01/27	0	27	27	22	21	22	22	32	45	26	41	28	71	67	38	54	63	84	90	100	60	51	101	79	103	60	34	
2011/02/23	27	23	31	49	44	54	72	83	71	104	114	118	122	127	132	88	105	72	64	51	47	50	45	35	48	47	34	
2011/03/22	31	46	73	104	104	124	103	108	91	76	62	66	70	83	65	56	73	97	84	56	80	114	152	131	124	97	67	
2011/04/18	67	76	90	100	103	80	78	67	57	39	71	70	76	57	51	77	72	95	71	38	61	93	80	84	29	29	64	
2011/05/15	54	63	57	65	36	33	44	47	37	23	23	40	65	91	100	105	132	107	118	122	116	74	67	58	45	46	35	
2011/06/11	37	16	16	48	48	62	65	67	47	43	57	44	47	62	47	26	30	37	45	34	51	54	42	44	30	36	42	
2011/07/08	65	55	67	72	62	90	79	90	79	101	127	96	79	56	54	41	46	38	30	54	84	88	101	122	130	98	66	
2011/08/04	81	94	85	89	80	54	43	36	25	35	0	13	26	44	53	46	59	66	82	81	75	97	76	63	73	66	89	
2011/08/31	124	119	103	139	114	102	93	60	47	65	77	94	97	118	144	167	173	136	144	126	101	108	86	90	88	108	103	
2011/09/27	82	116	99	89	86	92	85	126	100	99	88	61	71	87	113	149	147	157	166	153	165	144	140	161	184	164	102	
11/10/24	126	121	91	85	91	73	80	112	129	109	148	88	120	132	154	148	208	152	127	159	140	176	137	126	122	137	146	
11/11/20	101	101	122	123	139	171	130	123	90	106	111	89	106	138	154	185	143	122	142	116	90	103	70	77	65	44	60	
11/12/17	95	103	133	139	93	105	123	101	66	110	120	122	105	104	63	61	83	95	101	99	118	110	90	90	63	64	57	
12/01/13	81	145	141	120	152	122	117	88	102	103	108	105	63	55	39	34	74	76	71	85	85	39	43	37	27	24	28	
2012/02/09	33	51	62	80	59	64	40	41	53	63	68	72	61	31	52	47	47	58	45	35	22	24	24	52	70	105	109	
2012/03/07	102	86	96	89	103	89	80	75	85	104	89	54	58	74	62	86	74	65	84	56	63	70	100	93	96	50	67	
2012/04/03	62	60	50	39	38	25	24	24	28	50	50	65	77	86	78	96	122	132	147	118	158	168	107	117	99	118	114	
2012/04/30	104	99	96	107	101	88	104	79	90	79	93	102	85	138	156	125	122	114	118	110	124	126	95	91	96	86	70	
2012/05/27	83	87	73	78	76	151	113	130	156	154	131	98	90	107	127	114	135	147	114	113	110	96	66					
2012/06/23																												

昨年の夏以降黒点数は増えている

2012ALL ASA CW